

■ 議題

今回の番組審議委員会は、7月23日（金）午前8時23分より放送の「初めての中国語^{*1}」と、6月26日（土）午前9時43分より放送の「ヒッツ・デンタルクリニック^{*2}」、それに7月9日（金）午後2時00分より放送の「東海財務局岐阜財務事務所からのお知らせ^{*3}」の3コーナーを聴取して審議に入った。

※1 「初めての中国語」

コーナー内容： 高山市役所海外戦略課の職員と、香港出身で高山市観光案内所の観光ガイド ボニーさんによる中国語を学ぶコーナー。基本的な単語や日常で使えるようなフレーズを覚えていく。

放送日： 毎週木曜日・金曜日 午前8時25分頃～
（再放送）木曜日・金曜日 午後4時55分頃～と、
2日後の日曜日 午後2時30分～2回（木・金）分を放送

※2 「ヒッツ・デンタルクリニック」

コーナー内容： 「歯と健康」について、様々なテーマで話をする。

放送日： 毎月最終土曜日 午前9時43分～
（再放送）毎月最終日曜日 午後4時30分～と、
曜日・時間未定で+αの再放送がある時もある。

※3 「東海財務局岐阜財務事務所からのお知らせ」

コーナー内容： 全3回の特別コーナーとして放送。岐阜財務事務所の職員が出演し、仕事内容や飛騨地域との関わりなどを紹介する。

放送日： 7月2日（金）、9日（金）、16日（金） 午後2時00分～

■ 審議内容

会社側： 審議に入る前に、前回の番組審議委員会での意見に対しての回答、報告、今後の放送予定、聴取した番組の補足などを説明した。

大萱委員長： 只今、聴取した内容についてでもよいし、普段聴いている放送についてでもよいので、順次、意見をお願いしたい。

松川委員： 「初めての中国語」について、先回、聴取したものに比べると改善されていて、わかりやすくなってきている感じだが、今回、日本語の「素晴らしい」を中国語の単語として紹介していたが、単語では無く、日常の場面で使えるような例文を紹介したほうがわかりやすいと思った。

松川委員：「デンタルクリニック」は、いろいろなパターンを説明していたが、個人的にはわかりやすい内容だと思った。また、宮ノ下ナビゲーターもうまく誘導していて良かったと思う。

「岐阜財務事務所からのお知らせ」は、岐阜財務事務所の方の仕事内容がよくわからないリスナーがいるかもしれないし、内容も少し難しい感じだったが、道路のインフラ整備や学校公共施設についてなど、市民にも影響のある内容だったので、聴いていて「なるほど」と思った。しかし、聴いているリスナーの大半が民間人なので、直接民間人に関わる内容があると「東海財務局岐阜財務事務所」の存在が身近になるような気がした。

大萱委員長：「初めての中国語」は、以前の放送と比べて変わり、工夫がされていると思った。まだまだ変えられる部分はあると思うが、限られた時間なので難しいかもしれない。今後に期待したいと思う。

高島委員：「初めての中国語」について、上手くできていると思う。しかし、テーマが「食」についてだったので「食」についての話に続くのかなと思っていたら、「素晴らしい」という単語についてだったので、関連性がないと思った。

「デンタルクリニック」は、ナビゲーターが進行役で先生が話をしている流れだが、先生の話ばかりだったので、ナビゲーターがもう少し絡むと面白いと感じた。

「東海財務局岐阜財務事務所」については、内容が少し難しく、一般の方には馴染みがない内容だったので、イメージが湧かなかった。岐阜財務局の女性の方のマイクが少し近いので、聞き取りにくい感じがした。

大萱委員長：「東海財務局岐阜財務事務所」は、全体的に硬い内容だったので、もう少しやわらかく紹介できると良いと思った。今後、工夫してもらいたい。

高原委員：今聴いた内容についてではないが、ラジオという媒体なので「情報発信」を耳で聴いて情報を得るが、放送した内容を、ホームページにも掲載してもらえるとありがたい。特に重要な内容は、放送で「こちらの内容をホームページにアップしますので、聴き逃した方はホームページをご覧ください」などと紹介して、情報をリンクすれば、より周知できると思った。また、各ナビゲーターのプロフィールも、もう少し詳しくホームページに掲載してあると興味が湧くのではないかと思う。

大萱委員長：ホームページも充実したほうが良いということだったが、お知らせ等は掲載しているのか？

会社側：内容によるが、音源素材は一部、聴き逃しの為にホームページにアップしている。情報も一部はその都度更新している。しかし、ホームページ自体、何年も変えていないので、予算はかかるが、今後、ホームページを変えていきたい考えだ。

大萱委員長：ヒット FM がインターネットで聴けるようになったし、ホームページもぜひ見直してもらいたい。

原委員：「初めての中国語」についてだが、何分番組なのか？

会社側：約 3 分番組だ。

原委員：3 分では短いのではないかと思う。前回の意見でもあったが、中国語は早口に感じる為、あえてゆっくり発音してもらわないと難しいと思う。ラジオの音声のみだと更に難しいと思う。日常的に使う単語を紹介したほうがわかりやすく、3 分では短い。少し時間をとって興味を持てば「勉強しようかな」と前向きになるが、3 分位では興味が湧かないので、番組時間をもう少し長くしたほうが良い。

「デンタルクリニック」は、毎回、歯科医の先生が交代して放送しているが、先生の話が一方的で長いので、宮ノ下さんとの会話形式を進めてもらうとわかりやすい。今回は知っている先生だったので聴きやすかったが、基本的に話が一方的だし、専門用語が多い為、聴いていてわかりにくいことが多い。

「東海財務局岐阜財務事務所」は、どうしても話の内容が硬いので、柔らかい会話にするのは難しいと思うが、もう少し、市民に関わりのある内容なら聴きやすかったのかなと思った。

石原委員：「初めての中国語」について、放送時間枠（約 3 分）が決まっているので構成を考え直したほうが良いと思った。世間話から始まっているが、世間話に直結する単語を使っていかなないと、時間が無い為、話す内容が限られてくると思う。使うシチュエーションを限定して、例えばレストランの中での会話や単語に限定して内容を作っていかなないと、時間的には厳しいかと思う。

「デンタルクリニック」は、内容が分かりやすく、話も聴き取りやすかった。

「東海財務局岐阜財務事務所」については、内容は硬いが原稿も一生懸命考えられていて放送は悪くなかったと思う。

大萱委員長：道路情報など（石原委員は国土交通省高山国道工事事務所職員）引き続きお願いしたいと思う。

太田委員：「初めての中国語」について、説明している女性の方が早口なので、聴いているだけでは聴き逃してしまい、わからない箇所があった。もう少しゆっくり話してもらえるとわかりやすい。

「デンタルクリニック」は、具体的に説明していたのでわかりやすかった。また、繰り返し違う言葉で説明もしてくれたので良かった。

「東海財務局岐阜財務事務所」については、台本を読んでいるだけで感情が入っていないため、一辺倒な言葉だけになってしまう。そういう言葉で聞いていると、内容が響いてこない。もう少し、感情が入っても良いのではないか。

村田委員：「初めての中国語」は、皆さんの意見と被りますが、今月のテーマは「食」と言いながら取り上げられず、「食」に関連する例文のほうが聞きやすいと思った。折角なので、テーマと例文が同じほうが繋げていきやすい。

「デンタルクリニック」は具体的で分かりやすかったが、「水はダメですよ」と後で説明すると言っていたが、結局その説明があまりなかったことが気になってしまった。「歯根膜が大事なので、洗ってはダメです」と言うのは水で洗ってはダメなのか？そこを事前の原稿チェックの時点でやっておけば良かったのでは？

「東海財務局岐阜財務事務所」の放送は、市民の方が知りたいことなのか疑問に思う。皆さんに聞いてもらいたいことが、この内容だったのかも知れないが、制作側からも確認すれば良かったのではないか？ラジオから「財政投融资」と言われても意味が分からないし、税金を使っていないと言われても、財政投融资とはどういうものなのかを伝えないと、聞いていても理解してもらえないと思う。市民の側に立って分かりやすい番組制作が大事になってくるので、今後、考えてもらいたい。

大萱委員長：私が思っていたことを委員の皆さんが言ってくれたが、私も「初めての中国語」は、テーマと内容が関係ないと思って聞いた。テーマは前段階のお喋りで要するにレッスンはテーマと関係無かった。やはり、結びつけた方がとてもスマートと感じる。逆に前段階の話は意味が無い気がする。市のホームページには同じものがアップされているのか？

会社側：そうだ。原稿と音源がアップされている。

大萱委員長：台本ではなく、簡単なテキストで例文をいくつか載せて、こういう使い方があったほうが良い。台本を載せても仕方ない。一番良いのは原委員が発言されたように時間を5分位にしてもらおう。それが難しいのであれば、検討してもらいたい。

「デンタルクリニック」に関しては、水の話はどこへ行ったのかな？と思った。それから、聴いていて怖いと思ったのは、結局理解できたが、コーナーの最後の方で、「歯が欠けたりしたら・・・来院してください・・・」と言っていたところで、今、私は敢えて「ライン」と言ったが、ラジオで聞くと「ライン」と聞こえる。だから、LINEをしなければいけないと聴いている人は思うだろう。そうすると、LINEの情報は？となった訳だが、よくよく考えると、「来院」と言ったのかと理解できた。今の時代はいろいろな外国語の言葉が入ってきたり、和製英語があったりするので、しっかり発音しないとリスナーが聴き間違えてしまう。ゲストの方にも気を付けて話してもらう必要があるのではないかと思う。良い番組なので、今後の放送で対応してもらいたい。

会社側：「初めての中国語」に関しては、8月分は既に収録しており、見直しをするとすれば、9月放送分以降をどうするのかということになる。また、今回は中国語だったが、英語もあるので、そのあたりは海外戦略課と打ち合わせをしていきたい。ただ、皆さん忙しい方ばかりなので、どこまで作り込みができるのか相談したい。

「デンタルクリニック」は、月替わりで先生に出演していただいております。原稿は全て先生に作っていただいている。事前に原稿を送っていただける先生もいれば、収録当日にその場で原稿を渡されることもある。収録前に打ち合わせはするが、今後はなるべく早めに原稿をいただけるようお願いをしながら、当社で目を通して、上手く会話形式で放送ができるように進めていきたい。

「東海財務局岐阜財務事務所」の放送は、数年に一度、先方から「紹介させてもらえませんか？」と話しをいただいている。当社としては断る理由も無いので、「良いですよ。」ということで出演していただき、先方が作った原稿をそのまま放送した。今回は東海財務局の職員に出演していただいたが、例えば、高山国道事務所の方に中部縦貫自動車道の進捗状況や、最近国道41号が復旧して通れるようになったことを放送で紹介するということが、有っても良いのではないかと思う。もし高山国道事務所でも検討していただければ、出演してもらいたい。高山警察署の方にも今朝収録させていただいたが、毎週出演していただき、感謝している。

原委員：一つ意見しても良いか？ 今の「デンタルクリニック」もそうだし、「東海財務局岐阜財務事務所」もそうだが、内容が盛りだくさんに原稿を書かれており、当然、たくさん話したいと思っている。聴いている側からすると、盛りだくさん過ぎて、何が何だかわからなくなってしまう可能性がある。ポイントを3つ位に絞って、伝えたいことに集中して、それに通じるような話しを加えて、ナビゲーターと話していくと、聴いていて「あっ！そういうことなのか。」と理解しやすい。すると、次のテーマに繋がっていきける。だから内容がいっぱいありすぎると、余計にわかり難くなる。特に「デンタルクリニック」に関しては、以前からずっと思っており、もう少し絞っても良いのではないかと思う。宮ノ下ナビゲーターと先生との打ち合わせの時に、一言入れる箇所を設けたりするだけで、変わってくると思う。ただ先生が文章を読むだけでは聴いているほうはわからなくなる問題があり、宮ノ下ナビゲーターには、合いの手を入れるとか、その辺りを考えてもらえば、先生が一人で喋っている内容と変わってくるのではないか。

会社側：「デンタルクリニック」もそうだし、例を出して申し訳ないが、警察署の放送も原稿は警察署からいただいている。今朝の収録では山岳遭難の話をしてしたが、署員の方がある程度話しをされて「遭難に気を付けてください。」ということだった。原稿に書かれていないことを宮ノ下がアドリブ的なことを言って、一人でずっと話しを続けないようにすればということをお願いしたい。

原委員：そこは打ち合わせの段階でチェックして、話しが長すぎると思えば、そこで一度区切って、宮ノ下ナビゲーターの言葉が入れば、そこで区切られて聴きやすくなるのではないか。打ち合わせが大変になるだろうが、まずは聴いている人に分かってもらうことが一番大事なことだと思う。そうでないと、伝えたいことが伝わらないことになる。

大萱委員長：公的な機関だと、原稿を一度作ってしまうと、軽微なもの以外は変えられないのか？ 内容が大きく変わってしまうのはNGなのか？

村田委員：決済を取っているので、大きく変わることでないと…。長い文章を2つに分けること位は、問題無い。

原委員：内容を変えるのではなくて、一人で延々と話しをされると、聴く側も嫌になってくる。もし、その話しが3つ位に分けられる話であれば、2つ話した後に、宮ノ下ナビゲーターが合いの手を入れるとか、それによって残りの話も聴きやすくなるのではないか。

大萱委員長：原委員の言うことは最もだと思う。またそれによる打ち合わせも大変だと思う。できるだけ広く浅い情報と、深く鋭い部分とのメリハリがあると、聴きやすくなるのかなと思う。今後原稿を作っていただく時点で、一人で喋る文章が長くならないようお願いするとか、ナビゲーターが喋る部分を用意していただくなど、一人で喋る難しさ、二人で喋る難しさがあると思うが、アドリブを入れたりすることが無理と諦めるのではなく、今後トライしていただきたい。一朝一夕で変わることはないが、配慮していただきたい。

それから、色々な専門用語や略語が出てくるが、できるだけラジオでは避けてもらいたい。放送局側が当たり前だと思っけていても、聴く側が全くわからないことがあるので、噛み砕いた内容で伝えてもらいたい。相手が難しい言葉を言われたら、ナビゲーターが詳しく具体的に臨機応変に対応してもらいたい。ただ時間が限られてるので、難しいことだと思うが、できることはやってもらいたい。

本日も貴重な意見をいただき感謝している。会社に持ち帰って直ぐに対応できるものは対応していただき、考えてより良い方向に進むことを期待する。決してこの番組がダメだと言うことではなく、良い番組だからこそ前向きに捉えてもらいたい。

会社側：貴重な意見を頂き感謝している。難しいところも正直あるが、何とかすればヒッツFMも変わったと思えるように取り組んでいきたい。

■ 審議機関の答申又は、意見の概要を公表した場合における公表内容、方法年月日

令和3年7月27日（火） 番組審議委員会の席上で説明

■ その他の参考事項

次回開催日 令和3年9月下旬

開催場所 飛騨地域地場産業振興センター（予定）